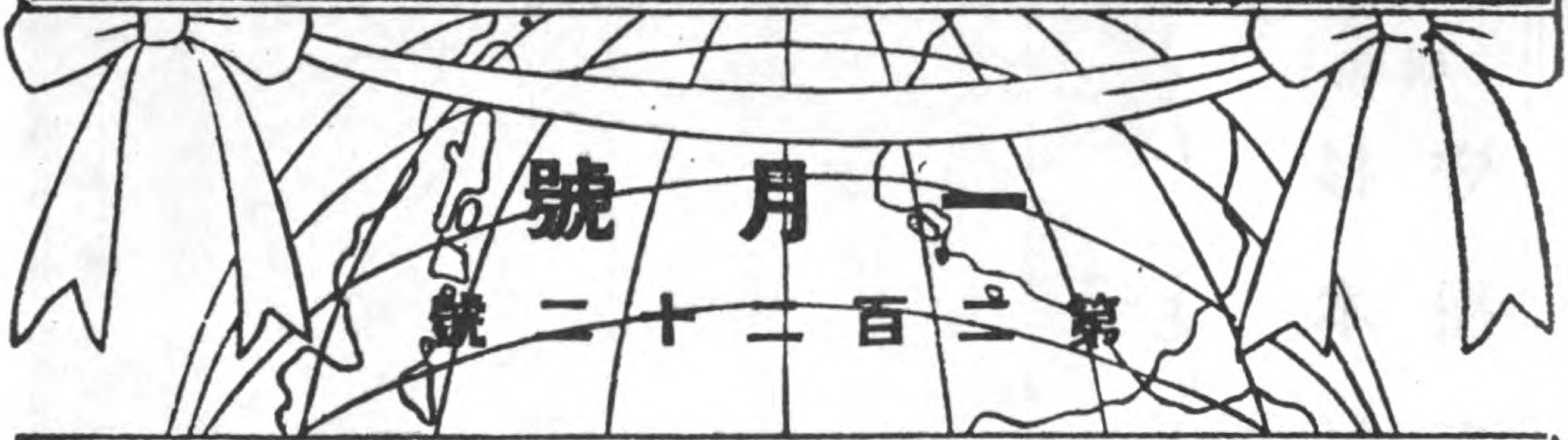
婦人新報



一月號

第二百二十二號

婦人新報第二百二十二號目次

叙勳の恩命と天盃拜受に就きて　矢島楫子
眞理は常に勝利者也　山室軍平
今年協力して實行したきこと　井深花子
迷へるアイヌを助けて
　△京都から東京まで　守屋東子
　△東京の一日　小橋三四子
　△歸省したアイヌの便り　記者
夜學校の今日此頃　山川まし子
ナイルス氏の飛行振　あづま
利巧者　安中花子
めぐり合ひ　ひなぎく
聖誕を祝して　北見くら子
島原女　奥きく子
田舍便り　高谷とく子
各地通信
　本部、麹町、札幌、弘前、神田、
　小石川、長崎
編輯室より　エー、エム

基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天父の御恩寵の下に愈々本會の主義をかざして健鬪致し度新年の御祝儀にかへて申上候

會頭 矢嶋楫子

外 本部役員 一同

謹賀新年

讀者諸姉の御祝福を祈る

編輯者 藤井かう子

外 同人 一同

おめでたう ございます。
ほんねんも また ごあいどく
くださいませ

少年新報 杉本鉞子

編輯 守屋東子

社告

◎婦人新報定價（郵税共）

一部（前金） 金六錢
六部（前金） 金三十五錢
十二部（前金） 金七十錢
（郵券代用一割増）

◎廣告料

一行（五號活字） 金十錢

編輯及事務所 赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所 電話新橋一〇三六

大正四年十二月廿六日印刷
大正四年十二月廿八日發行
發行兼印刷人 矢島楫
編輯人 高原孝
發行所 東京赤坂區溜池町三番地 婦人矯風會事務所 婦人新報社
印刷所 東京神田鎌倉河岸 丸利印刷所

No. 222. JANUARY. 1916.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

MY Decoration and Sake-cup............Madam Yajima.
Truth forever the Victor.............Colonel Yamamuro.
Our Work for the coming Year......Mrs. Hana Ebuka.
The Stranded Ainus..
From Kyoto to Tokyo............Miss Azuma Moriya.
A Day in Tokyo.................... Miss Miyo Kohashi.
Their Message after reaching Home....A Contributor.
The Night School at Headquarters...Miss M. Yamakawa.
Mr. Niles and his Aeroplane..........................Azuma.
The Clever One...........................Miss Hana Annaka.
To Meet Again...Daisy.
Christmas Gladness.........................Miss Kura Kitami
Women of Shimabara........................Miss Kiku Oku.
A Message from the Country..........Miss Toku Takaya.
Reports;- Headquarters.—Kojimachi. Sapporo. Hirosaki. Kanda. Koishikawa. Nagasaki.
Message from the Editorial Room. A. M.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 3, Tameikemachi, Akasaka, Tokyo.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衆議院議長官舍に開かれたる矯風會主催の矢島會頭叙勳祝賀會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

叙勲の恩命と天盃拜受につきて

矢島揖子

△餘り早かりし榮の冠

私が今回叙勲の恩命を蒙りましたに就て、諸方から祝意を表せらるゝので、御厚志を深く感謝致しますが自分の偽らざる感情を申し述べますと、どうも柄に無いことゝ思はれ、何となく人事のやうに考へられて仕方ないのであります。私は多年世間からは厭がられ、嫌らはれる矯風主義の下に働らいて參りましたので、或る方は信仰が足りないと申さるゝかも知れませんが自分の榮の冠は到底この空氣中に於ては得られない、遙か先きの未知の世界にあるやうに思はれて居つたのです。且つ多年教育に從事した功勞に報はれたとしましても、私は決して教育家たる柄でもなし、またその心得があるのでもありません。言葉さへも解らぬ者が西洋人の中に飛び込んだので、殆ど協力も六ケ敷い立場でありましたが、唯彼の國人等の立派な信仰に信頼して、以心傳心といふ有樣で、物事を運んで參りました

△始終生徒の積りであつた

然し學事に就ては一向備へがなくて入るのですから私は生徒と同じく、常に拮据勉勵して參つたので、何等の效をも奏しては居りませぬ。四十年前上京して小學校の教師をして居りますと、櫻井女塾を經營して居られた櫻井親子女史が北海道に轉住さるゝにつき、

その後とを預つてはくれまいかといふ相談になり、長い間塾長心得で居つたのであります。當時一般には基督教が好感情を以て迎へられぬ折で、從つて宗教學校は居留地に立籠つて居りましたものを、この櫻井女塾が帝都の眞中に、基督教主義をかざして打ち建てられたのは、眞に英斷の沙汰で、櫻井なればこそ出來たのであります。私が後とを預つたもの丶學力も資力も手も足りないので、初めの中は、ほんとうの世話人として、校長の事務も扱へば、教員の代理もする、事務員や小使ひの役目もするといふ風で、度々西洋の人々からは「あなたは櫻井さんの御相談にのつて、何故校長にならぬのか」と申されましたが、私は英語も讀めず、學問も未熟で、その方を研究して行かねばならずその上に資力が足らぬから、お引受けする事は出來ませんと申しますと、財政の方は一切御心配をかけぬから、引請けてはくれまいかと申されました。然し依然として、校長櫻井ちか子代理矢島揖と名乘つて居りましたが、學制の改革がある毎に、役人から餘り肩書が長過ぎると小言を云はれて居りました。すると或る年の卒業式に知らぬ間に院長矢島揖といふ招待狀が出來て、以後知らず識らず院長になつてしまつたやうな始末です。然し私の内心は常に書生と同じく勉强する積りで、三十七年の歲月を過し、其處に生れて死ぬ積りで居りましたが、まだこの老生徒は卒業しない間に古くなつて、退隱するやうになつたのであります。

△「わが酒杯は溢るゝなり」

かやうに自分の履歴を考へてくると、教育に功勞があつて恩命を蒙るなどは、喜ばしいどころか、寧ろ恥しいやうな心地がして、この衷情を察して人々も不便に思つて下さるだらうと思はれます。敍勳の事に就てはこれ丈けの所感でありますが、高齡の故を以て賜つた天盃の事に就ては、多少の所感無き能はずであります。丁度京都同志社に、基督教の諸名士が集まつた席上で、皆さんが「おめでたうございます。然し天盃は御辭退なさるだらう」と異口同音に尋ねられました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

そこで私は「有難うございます。」とて次のやうに答へました。天盃下賜の儀が傳はりました節には、前以てどうかしたいと安藤禁酒會長とも、さん〲運動しましたが、用ひられませんでした。然し愈々御下賜になる節、折角の恵みの賜物を私一人戴かないからとて外の人が止めるものでもなし、平和の地に波瀾を起す迄もないと、喜んで頂きました。尤も私が未信者であつたら、或は喜んで頂かれなかつたかも知れませんが凡てが神の攝理と思へば、ある場合を利用しなければならぬと存じました。且つ天盃の表には養老と書いてありますので、強ちこれに酒を盛るとは限りますまい私がこれを頂いて直ちに思ひ出したのは、詩の二十三篇であります。「なんぢわが仇のまへに我がために筵をまうけ、わが首にあぶらをそゝぎたまふ。わが酒杯はあふるゝなり。わが世にあらん限りは、かならず恩惠と憐憫とわれにそひきたらん、我はとこしへにエホバの宮にすまん」といふのであります。

△私に於いては有難い許り

そこで私はこれに盛るべきものは、かの養老の瀧の如き、純粋な水にしてよい、それに就て拙な歌二首を詠みました。

盃は末ひろがりに大君の
　めぐみの露のみちて溢るゝ

大君のおほみめぐみの御心を
　くみてたゝへん養老の泉

と申すのであります。また盃に添えて下賜された酒肴料は、よい墨を買つて、聖書の句を書いて皆に頒ちたいと思つて居ります。かく私に於ては天盃下賜は有難い許りで、利益になり、且つ聖書に照らして満足して居ります。

翻つて未信者の手に天盃が渡つたとしたら如何でありませうか。既に〱或るお爺さんが天盃を頂戴して喜びの餘り祝ひ飲めとて、二週間の間に身を滅ぼして終つたといふ事を傳へ聞きました。さういふ事もある

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

から、前以て其の筋にお願ひした事です。惡い習慣に染まつて居る者が、恵みの賜物を以て、反對に身を害する事のないやう、この後とても、申すべき折があつたら、返す〴〵も願つて見たいと思ひます。

△東京市の高齢者への贈物

東京市の高齢者に送られたものを御紹介申すと　陛下に獻上したお衝立の半面の圖とか申して、舞の袂を翻して居る所を八寸四方位の精巧な織物に織り出してあります。更らにこれに添えて、左の言葉が送られました。

長壽ハ人生ノ幸福ニシテ老ヲ敬スルハ社會ノ美風ナリ本市ハ貴姉ノ高齢ヲ賀シ併セテ將來ノ健康ヲ祈リ御大禮東京市奉祝會 行 幸ノ嘉辰ニ際シ特ニ記念品ヲ贈呈シテ祝意ヲ表ス

大正四年十二月九日

東京市長正三位勳一等法學博士　奥田義人

矢島楫殿

として頂戴致しました。これは各區の區役所に於て渡されましたが、其の節のお話に、奉祝會 行 幸の際は高齢者丈けを集めて、特に　陛下の御通過を仰がうと思つたが、老年の事故人込みの際もしもの事があつては却つて氣の毒と、その代りにかやうな記念品を贈呈するのであると、懇々と申されましたが、誠にこれは立派な記念品で、私もお品と證書とを一緒にして額に作り、永く保存致したいと存じて居ります。私は高齢者として、御大典の盛儀に際し、かやうな數々の賜物を頂戴して、また更らに國家に對して、深く自分共の責めの重きを感じました。

矢島會頭叙勳祝賀會にのぞみて

岡田仲子

光さす君の眞心あらはれて
いさをし積みし千代のたまもの

芝支部

勇しく君を祝はむ神の子ら
喜びあふるゝけふのまじらひ

眞理は常に勝利者也

山室軍平

△初めて矯風會を知る

私は築地活版所の小僧をしてゐた時、始めてクリスチャンになつたのでありますが、其頃川を一つ隔てた木挽町の厚生館で、何か大きな集會があるらしかつたので、何事があるのかと、其前に行つて見ると、婦人矯風會の集會である事が判つた。そして其門を出入する多くの婦人を見て、恁んな人々が日本の社會に新らしい風俗習慣を作つてゆかれるのだなと思ひ、えらい奥床しい事の如うに思つた事がありました。其後書生をしてゐる時に、矢島さん島田さん等が盛んに廢娼論を叫ばれて、雑誌に書かれ小冊子をも出されたので、私も謹んで之を讀み、他日自分も社會に出たならばかう云ふ方面にも多少のお手傳をさせて貰ひたいものだと思つてゐました。

△姉と仰ぐ矯風會

其れから久しく經つて後、救世軍に入つてからは、向ふでは何と思つてゐられるか知らぬが、こちらでは矯風會を兄弟の如く思つてゐました。唯弟が大きな弟だとて、おだやかなお姉さんが、外聞が惡くて困るといはれるかも知れぬが、之も持つて生れた性分で仕方がないと思つて戴きたいのです。それで婦人矯風會のお働きには始終感謝してゐるのです。今日では救世軍でも婦人救済事業に着手して、娼妓自由廢業の運動もだん〳〵實跡を納めつゝあり、最近三年間に於て

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京附近で約三百四五十名の娼妓に廢業をさせました。滿洲大連の方でも同じ樣な事業を爲して多少の働きを爲しつゝあります。それにしても、矯風會が逸早く慈愛館を設立されて、之が救濟の先驅をなされ、開拓されたと云ふ事實は、何時までも日本の風敎史上に殘るべきものだと思ひます。で今度京都にも婦人ホームが出來ると云ふ事ですが、大阪の成功した婦人ホームと合せて、益〻大いなる成果を納められん事を祈るのであります。

△御大典記念運動の效果

御大典に際して矯風會の決議された二つの事に關しても、私は心から之を感謝してゐるもので、御尤もの事であると思ふのです。そしてあの決議が何處まで役に立つたかと云へば、事實の上に於ては、或は藝妓行列が凱旋道路以內に入る事を許されず、其行列の日限も制限されたと云ふのを始めとして、或地方では事實上今回公の祝宴には殆んど全く藝妓の侍る事を拒絕せられたと云ふ事もあつて、此丈の成功は慥に得てゐると思ひます。而しそれよりも大きな成功は、此決議が一般國民に及ぼした道德的感化にあつたと思ひます。大正會及廓淸會の間に應じて日本に於ける、最も尊敬すべき人々が大部分我々の側に立つて同じ意見を發表されたと云ふ如き、其他新聞に演說に、此際國民が敎育せられた事は誠に夥しいもので有たと思ます。

△勝利は必ず來らん

前に申した如うに、私は自分が書生時代に廢娼論の小冊子を讀み、一二其の演說を聞いて、志を立てた小さい實驗に徵して、今の青年男女の中から、恁う云ふ事の實物敎育を受けて、慨然として志を立て他日のジョセフイン、バットラー女史となり、ブース夫人となり、若しくはウヰリアム、ロイト、ガリソンたるものが現はるゝに至らん事を、私かに期待してゐる次第です。そして一夫一婦の建白の如きも、何時成功するか判らぬけれども、目前の成敗を眼中に置かず、最後まで健鬪せらるゝならば、勝利は必ず來るであらうと思ふ。何となれば眞理は最後の勝利者であるから。

私は今多事なりし大正四年を送り大正五年の春を迎ふるに際し、我尊敬する矢島老女史を始めとして、矯風會員諸姉の祝福を祈り、今年の一層盛んなる御活動を望むものであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今年協力して實行したき事

井深花子

△輕薄な會員は困る

我が婦人矯風會は昨年度に於ける御大典記念運動等によつて外部には著しい活動が行はれ、從つて世人の注目を惹くやうになりましたが、新年と共に內部の充實、即ち會員の增加を計り度いと思ひます。從來私個人としても會員を募集するといふことは、大に躊躇して居りました。それは勸誘した人への義理に一寸會に籍を置き、暫らくして御免を蒙るといふ輕薄の會員が增加することを恐れたのであります。例へば慈愛館の賛助員や、また同館を支へる爲めに落穗拾ひと名づけて、幾度か募集に着手致しましたが、半年も經たずして御免を蒙り度いとか、これ丈けの寄附金をして退會しますとか申す者が多くて、その爲めに會の元氣を傷けられるやうな、嫌な思ひをしました。矯風會の會員となれば、一人增せば一人丈けの義務金を本部に納めるのでありますが、會員が一年も經たぬ內に退會するとなると、早速その義務金に影響を及ぼし、餘り輕薄な會のやうで、外國に對しても誠に面目ない次第であります。

△會員たる資格の修養

それ故會員を募るには、矯風會に確かに趣味を持つた人、即ち生涯堅い主義を以て會員の務めを完うする人を得たいと思ひます。さればとてかやうな理想的な會員はなか〳〵得られるものではありませんから、會員の修養に重きを置いて、常にその資格を作つて行くことを心掛けたいものでございます。先達ても常置員會の席上で、會計の小崎夫人が本部から「日本の義務金は何年も何年も同じ額ではないか、會員が少しも殖えないのか」と申して參り、誠に慚愧に堪へぬと申されましたが、これは會員たる者が等しく責めを感じてどうかしなければならぬことゝ思はれます。デビス孃

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が歸國されて以後は、本部から專務書記を置くやうにとその費用迄送られてあるのですから、此の際大に奮起しなければならぬと存じます。

△一年に一人の勸誘

その募集の方法に就ては、最も個人勸誘が有效であると存じます。演說會等を開きまして、有益なお話を聞いても、一時的で、直ぐに冷め易うございますが、膝を突き合せて、諄々と說かれた事は、一番身に染みるものです。それも急に多人數を作らうとすると、勢ひ勸誘した人に對して義理で入會するやうになり、さういふ人に限つて、暫らくして、その勸誘した人に關係がなくなると義務が無くなつたかの如く感じて、退會して了ふやうになるのです。それ故一人の會員が、一年間に眞に會の主義を愛するやうな會員を、只一人でよいから作る積りで、かの個人傳道をする覺悟で致したいと存じます。會員が一人の新會員を作らうと努力する時に、必ず全會は活氣に燃えて參らうと存じます。これが何よりも新年と共に祈り求むる處でございます。

改良すべきこと

記者

電車で日曜學校協會の幹事に遇ふた、話は來年の世界大會が延期されたるに及んだ。其理由はと問へば船の都合がつかぬからだといふのである。東京程の都市を持つて居て未だ充分な客をするに相應した旅舘がないといふ事である。勿論小數の客を止宿させ得る準備は充分であるが、何しろ三千人(米國の代員だけでも)といふ大多數の客を入れる處はないのださうである、寢臺は勿論足りない、然し寢臺は何もベツトを用ゐずとも、日本式のものでも却つて彼等外客は珍らしがつて喜ぶのであるが、一番困るのは洗面所と便所であると。此點について考へて見れば日本の旅舘程不便なものは無のであると聞た。今一つは隣室との境界が簡單な唐紙である事である。寢室は一家族の者すら一人々々戶を〆め切つて暮しつけた人々にとつては如何なに不安心なおちつきのないものであらうか想像される。まして斯うした不用意な室に男女の差なく隣りあふて宿る事は、危險な事で風儀上からいふても、財產上からいふても改良すべきものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

迷へるアイヌを助けて

守屋東子

▲京都から東京まで

御大典博覧會をあて込んで京都の町にアイヌ館を建て、三十名からの土人を引きつれて興行を初めたものゝ思はしくゆかぬ處から、責任ある興行主は金目のものを引き攫つて逃げてしまふた。あとに殘された世話人達は如何する事もならず、土人達に繪ハガキや手細工の品物を賣らせておつた。四十人近くの同勢の日々の食費におはれ、はる〳〵北海道の日高からつれて來た土人等には一文の給金さへ與へず、乞食同樣の眞似までさせて、道に立せて居るのを私共は見出したのであつた。

全國同志の應援によつて以外の好成績を擧げつゝ働いておつた大典記念協同傳道も殘る處三日といふ時に此憐れな同胞の問題にふれては決してなをざりにする事は出來ない。協同傳道最後の働らきとして、牧師初め信徒一同はアイヌ救濟といふ旗を立てたのであつた

□

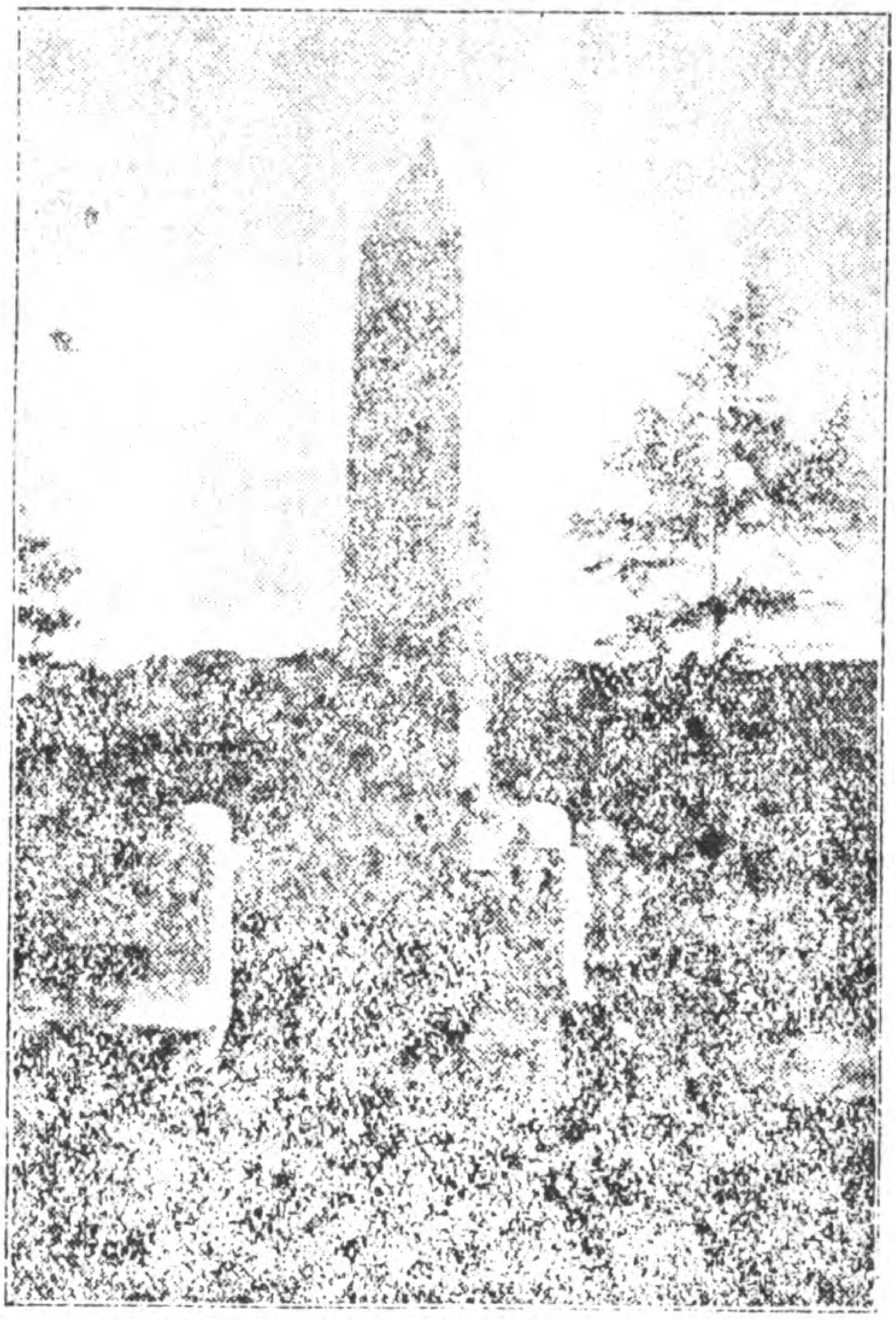
警察の交渉も都合よく運び、彼等の旅費其他の必要金子を作る爲に充分なる方法をとるべくゆるされた。そこで彼等が有する賣品の提供をうけ、アイヌ達を同道して市内各方面に賣るといふ事に一決し、牧師初め有志信徒は月末の多忙も忘れて販賣に從事したのであつた。一日滯在すれば食費なども最少額六圓は費消されるといふのである。何でも短時日に其金子を作らなければならない。私共は廿九日から一日までの三日間

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に三百五十圓の金子を與へらるゝやう祈つた、眞實與へらるゝと信じた、そして働いた。第一日に百圓餘を得た。唯感謝より外なかつた。此秋同志社の學生は京極の町に立つて憐れな土人の歸國の費用に其財嚢を開けと叫んだ。そして土人の風俗を寫した六枚一組のエハガキを賣たのであつた。奉祝踊に一枚數十圓をなげすてゝ、長襦袢作つた夢のさめきらぬ人々に、一枚八錢のエハガキを賣る事は決して容易の事ではなかつた。然し學生等の眞實は廿五圓餘の賣上を得て凱歌をあげたのであつた。

□

二日目も同じく百圓餘を與へられた。三日は最後の日であつた、此日新聞に掲載されたアイヌの窮狀は人々の同情をあつめて、救濟の應援をさへ申し込まれたのであつた。然し神は信じて祈つた祈りを聞き入れ給ふて、此夜再び學生等が京極に出てエハガキ賣をなし五十圓餘を得て歸つたのにより、三百五十圓餘の賣上げに達したのであつた。此外有志の寄附を加へて四百圓を出でたのである感謝より外の言葉を知らなかつた。金が出來た、皆で心を合せて働いた金は旅費に充分であつた。



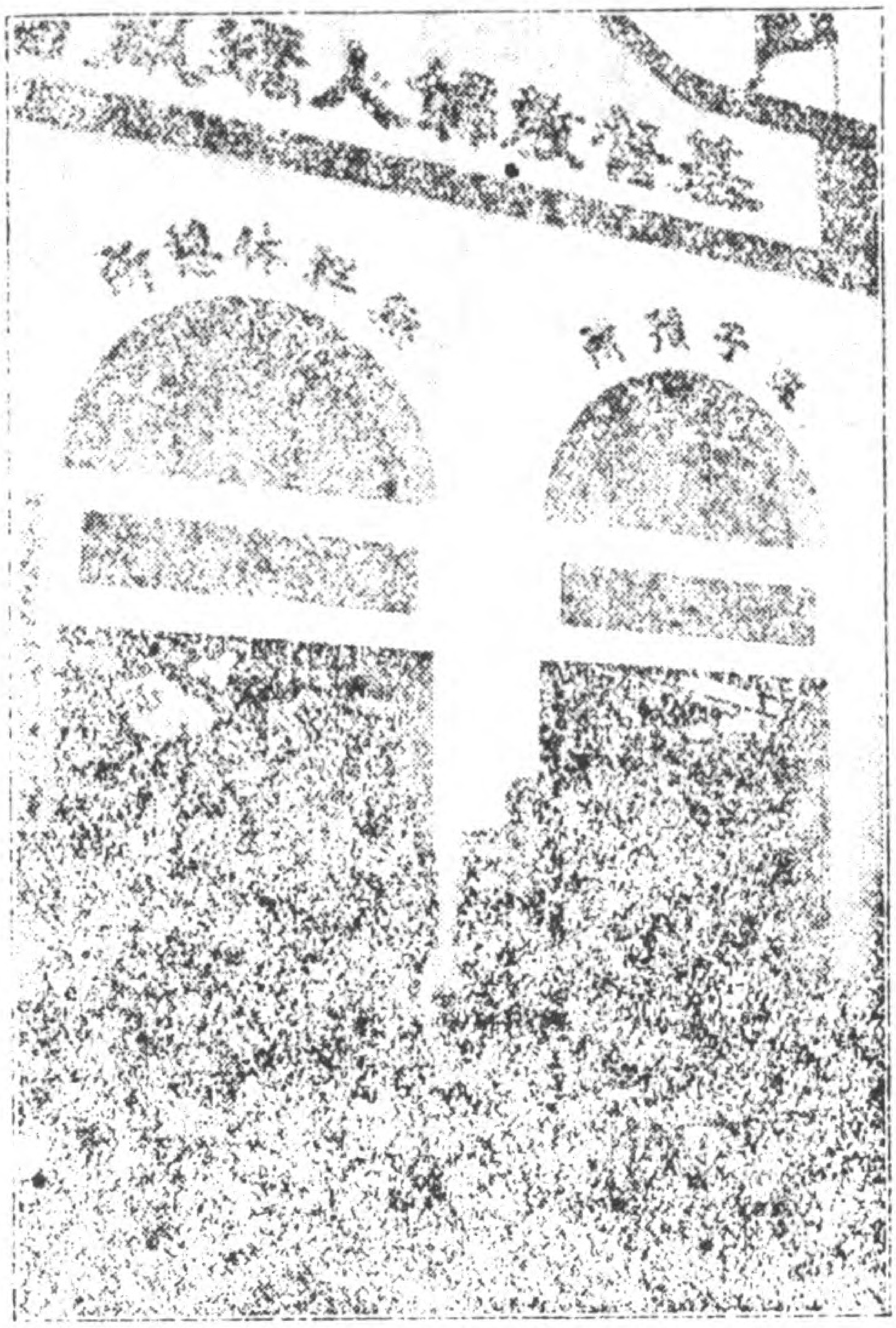
洋服裁縫業者が大典祝賀記念の爲め
京都動物園に建てた時計臺(前號參照)

□

鐵道院の交渉其他も都合よく運び、二日の午後二時五十分の汽車で歸らする事に決定した。彼等の喜びは實に天に達した、前後五日間朝夕親しく交はつた彼等の心情はやさしいものであつた。約束の日給さへも一度も得ないのに、それを

怒る前に逃れた興行主を憐れんで居つた。小供を伴ふた親は斯う云ふ事で國に歸つたらさぞかし學校の先生や宣教師に叱られる事であらう、申譯のない事になつたと泣いておつた。唯彼等のすべての慰めは 陛下の御車を拜觀した一事であつた。彼等はせめて内地の着物を着用して歸りたいと願ふた。實に無理のない事である。然し日給さへ與へられなかつた彼等は買ふ金子を有なかつた。着て居るアイヌ服の賣却方を懇願したが買手もない而もよごれた彼等の着物は賣る時も買ふ人も此場合なかつた。遂に古着一着づゝを贈る事になつて與へた。彼等の感謝は言葉にあらはしがたいものであつた。

□



京都の本會が設けたる無料休憩所

二日の日彼等は出發の用意して協同傳道の事務所に來た。心からの感謝を捧げて七條に向ふた。會員の數名は彼等を送つた。用意された車に乘つた彼等も送る我等も涙をとゞむる事が出來なかつた。一人の女は天をさして「皆な神樣が見てゐる。神樣がお禮をいふてゐる」と泣いた。男も女も窓から首さしのべて見える限り別れを惜しんだ。酋長の懷に東京の矯風會員へあてたる依賴狀と警視廳及青森警察に宛てたる開狀とを入れて立たしたのであつた。

三十人の迷へるアイヌを感謝の内に送つた事をわすれる事は出來ないのである。

15

▲東京の一日

小橋三四子

△異樣な行列

十二月四日の夜、矢島會頭から「明朝七時東京驛に氣の毒なアイヌ三十人が到着するから」との電話を頂いた折、私はその成行の概略を承つて、明日は何を置いても出迎へに行かうと決心しました。

起きぬけで東京驛に走せ付けた折は、はや一行は廓清會の伊藤氏、矯風會の市橋、板倉兩姉等に連れられて改札口を出やうとして居る處でした。一行は此の時既に矢島會頭から送られた小國旗を胸にかざして居りました。

外は折惡しく北風が冷たく吹いて、日の蔭は薄うございました。木の皮で織つた上着をつけて居る彼れ等の姿は一層寒げに見えました。私共は何より先きに暖かい朝飯を進りたいと思ひましたので、程近い神田美土代町の青年會館に急ぐ事となりました。青竹で櫃のやうな荷物を擔いだアイヌの一群れを連れて歩く私共を、電車や道行く人は餘程異樣に見たのでせう、「あれは何んだらう、見世物の終ひか」などゝ申して居る聲も聞えました。

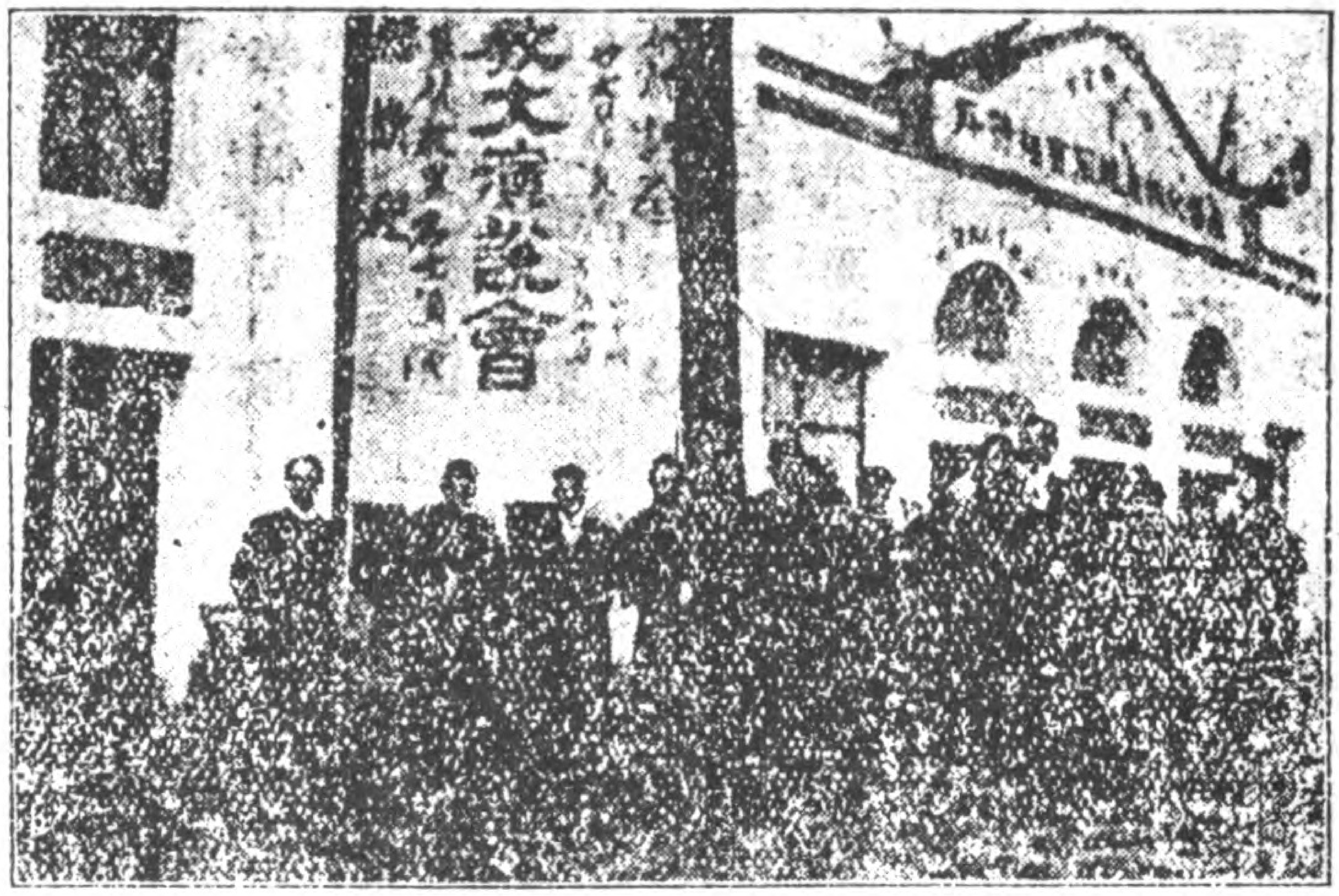
△朝の集會

青年會館では益富氏が萬事を引受けて、廣やかな客間を惜しげも無く打ち開いて迎へて下さいました。ストーブの火は赤く燃えて、心地よい椅子は人數に餘る程、與へられました。朝飯の出來る間にとて、朝の禮拜を行うことになりました。五人の子供等は、何れも邦語の讚美歌が歌へるとの事に、二つ三つピヤノに合せて歌ひ、益富氏から懇ろに慰めの言葉を語られました。救世軍の青木氏の熱心な祈りに和して、一行の口から屢ゝ「アーメン」と稱へられました。靜肅な數十分が過ぎました折、恰もよし、暖かい朝飯は皆の前に用意されました。會長に感謝の祈りをして貰ふと、誠に美はしい響きにアイヌ語の祈りを捧げて、一同は嬉しげに朝飯を濟ませました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

△上野淺草行き

十時頃一行を連れて、上野淺草見物にと出掛けました。物見高い都の人は、到る處人山を築いて、見るよりも見らるゝ事が多いので、尠なからず迷惑しました上野の動物園では何よりも象を珍らしげに見まもりました。今朝からの雲は、終に雨となつて來ましたので坂下の町で番傘を買ひ、一人に一本宛を與へて、「國に土產に持てお歸りなさい」と申したら、子供等は「ほんとにか」と聞いて、その喜びはめづらしい動物を見るより勝つて居りました。成る程山奥に野獸を友として居る彼れ等には、檻に入つた動物は左程の感興は惹きますまい。雨は幸ひに上りました。また電車に乘て淺草に行き、花屋敷を見せますと、いゝいゝ仕掛の人形を子供のやうに喜んで、久しく前に立つて動きません。此處から觀音の境内を通つて、仲見世に連れて出ますと、忽まち兩側の赤や綠の簪リボン、シャツ等に引きつけられて、女達は三々五々店に寄つて買物を始めました。「これは國に待つて居る娘にやりたい、これは男の子の土產にしたい」と乏しい財布を絞るいぢらしさに、一同と相談の上、五十錢宛を與へて自由に土產を買はせました。私は今日程淺草の仲店の必要を感じたことはありません。どちらを見ても、彼れ等の嗜好に投ずる物許りです。遙々狡猾な人の口車に乘せられて、京都くんだり迄出稼ぎしたのも、かやうな品々を買はんが爲めでありましたらう。私に金がありましたら、彼等に飽く程



同前休憩所に働らきし人々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

買はせてやりたいと思ひました。

△喜び絶頂に達す

淺草のとある敎會の一間を拜借して、十錢宛の辨當で、晝を濟まさせました。時はもう三時に近くなつて居ります。なほ土產を買ひたがる彼れ等を促して、靑年會館に歸つた頃は、もう町々には美しいイルミネーションが輝いて居りました。會館に來合せて居られた江原素六先生は、いぢらしい一行を見て「子供に菓子でも買つてやつて下さい」と二圓寄附して下さいました。益富氏の斡旋で、報知の夕刊に一行の始終が出たといふので、次々に寄附金や、手拭、玩具、菓子等を寄贈さるゝ方々が多く、彼れ等の喜びは絶頂に達しました。今夜七時に上野驛を立たせる筈でしたが、鐵道靑年會の好意で、一夜を薄團の上にゆる〳〵と休ませる事にしました。翌朝九時の汽車で彼れ等は喜びに輝きつゝ、別れを惜しんで出立しました。寄附はこの日迄に六十圓餘に及び、東京の一日の費用を差引いても、なほ十圓餘殘ることゝなりました。會計を司つて下すつた市橋姉は、これを北海道廳の手を經て、アイヌ村に屆けて下さいました。

▲歸省したアイヌの便り

貰つた金で植林を企つ

アイヌの一行が十二月七日に無事に平取村に着したといふ手紙を私共は受け取つた。諸所に來た手紙を綜合して見ると次のやうである、京都を始め諸所からの寄附金を一纏にして送つた其の金の分配の時に校長、巡査、及牧師方が立會の上で三十名のアイヌに渡したといふ事である。其分配された金の使ひ道についても知りたいものだと考へて居つた。丁度平取村にある廓清會員某氏から廓清會の伊藤氏へ來た手紙によると三助(此人はアイヌの內でよく理解のある、手細工などの上手な男であつた)といふ人の發言で植林の苗木を買ふ事に決したといふ事である、三助氏の云ふに內地に行つて見て山の坊主になつて居るのが多かつたが今に北海道にも內地人が多勢入り込み遂には木が少な

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

くなつて坊主山が出來るやうでは困つた事だからといふのであつたと聞いた。實に感心な處に金を使ふ發言をした事だと驚ろかされた。實は京都で彼等を引率した男（內地人）等のいふ處によると、とても斯うした考へを起し得る人達でないやうに聞いて居つた。私はよく人を知つてゆかなければならないと思ふたのである。

猶役場員校長などより懇々と利益に走つて農を忘れ只興業師等の言ふ事に從ふて今後は他行する事のないやうにくれ〲も戒めたといふ事である。此人等を歸らす費用を作るとき、再び斯うした苦しみを作ることのないやうに言ひたかつた。然し先づ一事をしてからと其事は曰はなかつた。今此音信に接して感謝して居る。

産婦人科
小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京市麴町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

夜學校の今日此頃

山川まし子

□

擔當者の都合で夏休以來休校の姿であつた女中夜學校も十月六日再び開始しました。可成長い休みの中には事故を生じた者も多く、七名の退學及休學者あり、出席僅かに三名でございました。流石に續けて來る程の人は仲々熱心で、總ての思ひ煩らひから離れて、只一心に學ぶ樣は見るも頼もしく、數の少ない事は却つて雙方に落付きと親しみとを與へたかと思はれますそのうちに新聞に書かれました爲に、漸次六名の新入者を得、都合九名が確實な在籍となりました。その中には十五歳を下に四十を越した方まで樣々で、また女中さんばかりではございませんでした。毎夜七時頃になりますと多い時は七八人。少ない時には二人或は三人定められた學課について學び初めます。最高は現制尋常科卒業、低きは尋常二三年程度で、之が最多人數でございます。この統一のない生徒に、教ふる方も全く無經驗でございましたが、只學ばう教へやうといふ二つの心がピッタリ相合して、樂しく毎夜の課程を進めました。時間が來ると讃美を歌ひ、感謝を捧げて別れます。月曜の夜は特別にお話をする事になつて居ますが、それには聖書よりも平民の福音を用ひ、さもなくば日々の實驗から得た教訓たとへば、人各々に與へられた職分などにつき、最身近い話を選んで致してをります。

□

他家に仕へてる人達の事ですから、いづれ辛い事も悲しい事も持つて居りませう。その中の一人二人が時々時間まで殘つて居て、身の上を語ることもございます。その時には出來るだけ慰さめ勵まして、特別に祈を捧げて上よりの力を求めて居ますが、この頃に至つて毎日の短かい祈、ならびに特別に靜かに二人で捧ぐる祈が、ほんとにその人達の力になつて居る事を知り得て、上なく喜んで居ます。其他にもすでに主家の事

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

情で退つたもの〻、止むに止まれぬ心から、奉祝日とかお祭日とか暇を得れば夜學校に來て、平常胸に疊んで居る事の一切を吐き盡して何かの言葉を求むる人もございます。

□

十二月に入りましては何方の家もお忙がしいと見えまして「今暫らくは」といふ人が殖えました。それでも二人は必ず參ります。一日の働らきの疲れも御座いませうに、七時から九時までひたすらに學び、それから歸つてまた爲す可き事も少くありますまい。遠くは青山の七丁目から通つて來る人もございます。私は外し難い所を外して御出し下さる御家の方々に感謝すると共に、かくまでして勉めらる〻人々に對してすくなからぬ敬意をもつてゐます。誠に樣々思ひめぐらすれば、頼り少ない此等の人々を敎へ導き、その立場々々によつてほんとに「神の榮をあらはす人」とならしめんとのこの働らきが、如何に努む可く、如何に尊ぶべきものなるかをおもふ事愈々切でございます。いとさ〻やかな有るか無きかの營みながら、この中に流る〻淸い生命の水が、何時かは大河の如く漲る時が參りませう。今年も暮の聲をき〻ます。來る二十四日クリスマスを祝ふ集を最後として今暫らくの休みが與へらる〻はづでございます。來る可き新春よりは更に新らしい力を以て、益々努めやうと夜學校の一同は語つて居ります。

ナイルス氏の飛行振

あづま

敎會の歸り青山でナイルス氏の飛行振を見ました、其樂々とした飛行振は丁度燕かコーモリの遊ぶやうでした。一度中空にまひ上つて一直線眞倒樣に落ちて來るときは全く心をうばはれるやう、それで落ちはせず、反つて地に近づくや忽ちスーット横に飛ぶ樣は胸のすくやうに思へました。

猶ナイルス氏の飛行の中で驚かされましたのは、飛びながら宙返りをなさる事でした。地の上でも宙返りは容易でないのに、空で一度ならず、二度三度迄クルツ〱と廻轉されたときは、實に思はず聲を立てました

私はつく〲其刹那に感じました事は、ナイルス氏の此廻轉は實に不思議な事であつたといふ事です。ナイルス氏が飛行に上達し、自由に飛び得るやうになつた時、學問上また議論上からは、決して廻轉出來ぬと言はれておつた廻轉法を試みた處が出來たのだそうです、その後は何等の苦なく廻轉を自由になし得るやうになつたといふ事實です。私共の信仰も議論でなく、學問でなく、實地にやつて見ろ、而も信じて後にやつて見といふ點です。且命がけでやつたといふ經驗がなければ、まだ〱私共の信仰は掌に入つたとは申されません。此事が最も深く深く感じさせられた事を私はナイルス氏に御禮申すので御座います。

利巧者（上）

安中花子譯

お祖父様は八十で、アリスは滿十八迄に未だ二ヶ月間のある孫娘でした。然しこの二人が眞實に愛し合うて居た事は事實です。食堂から勝手の方へ出入りするアリスの姿を飽かず眺め入る老人の眼「昔むかし」で始まる追懐語りに餘念なく聞き入る娘の顏付で、それは明瞭知れて居ります。

お祖父様は何か今日は浮かぬ顏付で、先程からしきりに考へ込んで居りましたが、

「アリス、お前は……」堪へ切れなくなつたと見えて遂に口を開きましたのを、皆まで言はせず若い娘は

「だつてお祖父さん……」と早速言譯に掛りました。

「それは又何故だね。二十圓の金の使途が無くて持て餘すと困るからと言ふのかね。」

アリスは輕く笑ひました—何時でもお祖父さんの剽輕で笑はせられるのですが。—直ぐその後には溜息が續きました。

「使途がないなんて！二十圓のお金はどんなにだつて役に立ゝせられますわ。ですけれど私なんかとても駄目と分つてゐるのですもの。試つて見たつて仕方がありませんわ。」

「駄目だつて？試つても見ずにどうして駄目とわかるのかね。ウエリングトンがウオーターローの戰で「とてもナポレオンには敵ふまい。」と言つて初から凹んで仕舞つたら如何だらう。」

「ほんとうにお祖父様は軍人がお好ね。戰にお出になれなかつたのは惜しい事ですね。立派な軍人様に成

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れたでせうにね。」

「足さへ普通だつたら家になんかグツ〳〵引込んで居るのぢやなかつたがな。それに親父樣が腕をくぢかなけりや、學問だつて十分に出來るのだが、全く運が惡いと言ふのさ。一體このホルト一家の者で大きい望を持たなかつた人は一人も無いよ。俺は兼々お前には此の一家の特徴がよく表れて居ると思つて居たのだが。全體その………」

「大叔父樣は戰から歸つていらつした後で、勉强なすつたのですね。」アリスはすかさず祖父が得意の話題を持ち出しました。

「然うだとも。彼は大學教授に迄なつたよ。今度此の論文の懸賞を出したアンケニーといふ裁判官などもジヨーに歷史を習つた生徒だ。」

又々風向きが怪しくなりました。

「其の裁判官といふのが、御自分のお母樣の牛を連れて學校へいらしつたといふ方でせう。」

アリスは話を側道に外らせようとして一生懸命。

「然う〳〵、其の人だよ。それで今度此の裁判官が十八以下の人が書いた論文の一等に二十圓の懸賞をしたと聞いた時、俺は思はず「家のアリスに取れる筈だ」と獨語にまで言つて仕舞つた位だ。」

アリスは祖父の椅子の側にチヨコンと座り込みました

「ねえ、お祖父樣。人間といふ者は皆同じぢやないでせう。各々の得手は違ひますわね。」

「それはもうお前の言ふ通りだ。けれどホルト一家の者は皆學問が出來たよ。お前の姉さん達は二人とも嫁に行つて仕舞つたが、お前こそは花々しくやる事だらうと思つて俺は內々望をかけて居たのさ。」

「私には慥にホルト家の血は流れてゐるのでせうけれど、大叔父樣や、叔母さんや父樣のなすつた樣な事は出來ませんわ。」

「腦でも惡いのかね？」祖父は稍冷かし氣味に愛くるしい孫の顏をのぞき込みました。

「まさか、然うでも無いでせうけれど……

「私にだつてよく出來る事は有りますわ」

「ホウ、然うとも〳〵、それで無くては不可。一體お前の得意は何だね。お前の從兄といふのは素晴しい演説をしたものだよ。」
「私は食パンの燒き方を三通り知つて居ますし、五色位のお菓子はこしらへられます。」
お祖父樣は頓に悄げ込んで仕舞ひました。
「高等女學校迄行つたのに未だそんな事を言つて居るのか、俺は逐此の間パックスレー樣にアリスは家中での利巧者だと話したばつかりだ。然しどうも仕方が無い。それならそれで俺にも考へが有る。どうも仕方が無い。」
手近にあつた杖を取るより早くアリスが引き止めるのも聞かず、裏の納屋の方へと出て行きました。間もなくアリスが其處に行つた時には、腹立たしげに鷄の餌をこしらへて居りました。
「お祖父樣私試つて見ます。」
「當然さ。止めるより試つて見る方が餘程增だ。きつと懸賞を取つて見せると言ひなさい。」
「そんな事は言へませんわ。」
「そんならホルト家の娘ではないと言ひなさい。」
「試ります、試ります。命懸けで試ります。」斯う言ひ捨てゝアリスは家の中へ馳け込んで仕舞ひました。
書き度いといふ氣が起るのを待つて居る中に三日は過ぎて仕舞ひましたが何の思想も湧いて來ません。
「さあ、アリス、ホルト、しつかりおしなさい。」我と我が意久地無さを叱り乍ら、遂々心を決めて机に向ひ「學校時代。」「樫の木蔭。」ずつと難かしくなつては「趣味の赴く處必ずしも天才の存する處に非ず。」などゝいふ色々の題目を並べて見ましたが、結局「趣味の赴く處必ずしも天才の存する處に非ず。」といふのが一番氣にも入り、又自分の經驗上から來た材料も大分有る樣に思はれましたのでいよ〳〵此の題目で二十圓懸賞の論文を書く事に致しました。
漸くの事で筋だけは作り上げました、さあそれから段々と肉を付けるのですが一通りや二タ通りの骨折りではありませんでした。それでも如何か斯うか十幾枚

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

といふ程書き上げた時、フッと新しい趣向が胸に浮びました。「いつその事、初めからすつかり、自分の經驗を基として、先づ「文筆は我が秀づる處に非ず。文は我が愛する處なり。然れど單に文を愛する者直ちに文に秀づる事能はず」といふ樣な工合にしたら如何かしら、之を上手に利巧に言ひ廻して（私だつてホルト家の娘だもの）「論文が書けないといふ事」を證據立てるために書いた論文で御褒美を取つたら如何だらう？嘸お祖父樣が御喜びなさるだらう。」

それから又新しい筋を作り、二時間といふもの身動きもせずに書き續けました。此處を切り取り、彼處を附加へ、綺麗にインクで淸書した後、扨て作文の先生に敎へられた通り、一週間位經つてから冷靜に批評するため其儘大事に机の引出に入れて、床に就いた時には二時半で御座いました。

めぐり逢ひ

ひなぎく

「進歩」がスタ〳〵と小氣味よい足取りで歩るいて來ると道の中央に「習慣」が蹲まつて場所をふさげて居るので、丁寧に會釋して、

「申兼ねましたが一寸其方に御寄りになつて通して下さいませんか。」と頼んだ。

「妙な御願ですね、ちやんと靜止して居られるものをわざ〳〵側に寄る人があるものですか。」如何にも眠さうな調子だ。

「それは人の性質に依つて色々考は違ひませう。時が有れば私の意見も聞いて頂き度いのですが何しろ唯今は急ぎますので、どうぞ恐れ入りますが一寸御通し下さい」「進歩」は飽くまでも下手に出て居る。

「仰る所は一々御尤もです。」とは言つたもの丶一向に動かうとはせぬ。

「一々御尤もですが、私も自分の身が第一なのですからよく〳〵總べてが腑に落ちた上で無ければ、たとへ一寸の所でも動くといふ譯には行きません。一體どちらの方へ御出掛です。御話に依つては私も一緒に參れるかも知れません。」

「前の方へ行きます」キッパリとした調子だ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

それは〳〵まあ、大した事です。それではまるで御話になりません。グル〳〵、グル〳〵廻つて來るとでも言ふのならまた御相談にも乘れますが、先へ出るのではどうも。」

「致し方御座いません。それならどうぞ通して下さいませんか」稍いら立つて來た。

「まあ、どうしてそんなにくどく仰られるのでせう。人の氣も御存じなくて。」

「どうも私にはサッパリあなたがわかりません。チッとしてゐらつしやる、ゐらつしやらないは御勝手ですが私は先へ出なければなりません。どうぞ通して下さい」

「別に喧嘩をしようといふのではありませんよ。」「習慣」の聲音は荒々しい。

「何も喧嘩は致しません、ですけれど、さうして邪魔をしてゐらつしやれば、終には喧嘩にもなりませうよ。」

「そんなに顏色を變へなくたつていゝではありませんか、少し落付いたらいゝでせう。」

「進歩」は遂に「習慣」を押しやつて前に出た。

「何といふ人だらう。」這々の體で起き上つて、着物の塵を拂ひながら「習慣」はつぶやいた。

「巡査でも近くに居れば直ぐ縛つて行つてもらうのだけれど……」(をはり)

聖誕を祝して

北見くら子

暗黑の宵よ靜寂よ胸底に
　光りを戀ひて泣ける靈魂
光りなき夢幻の境にいつまでか
　我れ迷宮の人とあるべき
ベツレヘム神の子天降る兆しぞと
　銀の小鈴を鳴らす星の夜
天軍の樂の音高う猶太より
　幻滅の世の夢を破りて
生れましぬ永劫の救ひを振れしめし
　罪に泥める混沌の世に
黎明の氣を震はせて永劫の
　光りことほぐ聖誕の鐘

島原女

長崎　奥きく子

惠まれたる第三回九州部會に出席するの光榮を與へられ、御熱心なる林、守屋の兩講師のおすゝめ、また開會支部の愛に充ちたる御働き振り、さらに私共と同じ代員方の御熱心、御奮闘、此等の御話を伺ひ、また拜見して心の目をさまして頂きました事を衷心より感謝いたすのでございます。守屋先生は此部會に出席したるものは、必ず一言でも今度の婦人新報に書いて出せとの御すゝめでございます。私も御禮として何か書き度いのでございますが、何やら胸一ぱいで、何處をどう摘んだら私の心持を最もよく表し得るかわからないのでございます。いたし方がございませんから私は私が此の部會からの歸るさに出合つた事と考させらさた事を一言申上げて置きませう。私は歸るさ熊本に立ちよりました。それで又熊本驛から汽車に乗つたのでございます。日は丁度十月三十一日天長祝日で、そして日曜日でした。この日は熊本に滯在してゆつくりお祝も致し、又禮拜をも守り度いと思ひました。けれど餘儀ない用事を控へて居りましたので、心ならずも立つたのでした。驛々參りますと町家の女らしいのが五人ばかり打連れて入つて來ました。おかみさんの遊山の一連かと見て居りましたら、十四ばかりの女の子がちとかはつた風をして居りましたので、初めて藝者の仲間だと氣がつきました。追々と仲間はふえて十四五人となりました。三味線箱をかゝへた車夫が、二人ほど其中に居ました。聞く所によれば今日は病院側の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

祝賀會の爲に、熊本より六里計りの高瀬に赴くといふ事でした。遂々私は同じ汽車に乘りました。傍人なき彼等のお饒舌に大分なやまされましたが、私は見て居る内に彼等の運命のいかに悲しきものなるかを思はずに居られませんでした。彼等は己が身の恥しき事も感せず、寧ろほこりがに汽車の中をわがもの顔にのゝしりさわいで居ります。其中の十五ばかりの舞妓は私を送つて來た妹の生徒であつたと申します。恥かしがるかと思ひの外、何の苦もなくゐしやくして過ぎてゆきました。何と思つて居ることでせう。

それから佐賀を御訪ねいたし歸りますと、部會で決議された請願書を認めて出しますので、又いろ〳〵と考へさせられました。島原女、是は長崎支部が特に與へられたる使命ではないでせうか。力弱き私共はどうして彼等を救ふ事が出來ませうか。彼等を救ふ爲には職業を與へねばならぬ、教育を與へねばならぬ、與論を動かさなくてはならぬ、私共は請願書を出したゞけで手を懷にして居る可き時ではないと思ひます。どうか數年の内には何か具體的に救濟の方法を講せねばなりません。實地の調査も必要である、知識がなくては仕事は出來ないのである、私共はかくなるまで熱心に祈りませう、力を合せて心を合せて。かくして島原の廓清せらるゝ事は長崎の救であり、又九州の救であります。かくなる爲に必要なるものは金であり、人であります。隨分困難な問題でありますけれども、私共の祈は必ず神樣がきいて下さると信じて祈ります時に神樣は與へて下さいませう。どうぞ九州の諸姉のみならず各地の會員諸姉のあつき御祈りと御助力によりて此の事の成し遂げらるゝ事を祈りつゝ認めました。皆樣の御健康を祈ります。(十一月二十三日稿)

田舍便り

弘前　高谷とく子

東北と申しても、所に因つて多少の差はありますが陸奥の端なる此地の如きは、十月末方に白きもの見るは常であります。尤も時には小春の如き日和もあれど、降りては消え消えては降り、今頃は見渡す限りの銀世界、岩木の山も厚き白衣に包まれて、空高く聳え何をか神秘を囁くやうに見えます。

最も記念すべき本年も、はや殘すところ僅かになりました。過ぎ越しかたを顧みれば、本部諸姉の熱誠に勵まされ、例の決議文を携へ、高杉つる子姉と共に、夏の頃青森に知事を初め、警務部長訪問、市內にては、市長及び警察署長を訪問せし當時、或新聞紙上にて、しかも本部會頭を筆頭に、攻擊の矢を放ちしものもあれど、餘りにつまらぬ攻擊なので却つて氣に止める人もなかつたやうであります。何はともあれ、豫ての願ひの如く、當地大演習當時の公なる宴會、又御大典奉祝宴會にも醜業婦の姿さへ見えず、最も嚴肅に行はれましたのは、大に滿足するところでございます。

或銀行の祝宴の如きは最も靜肅に祝すべきであるとの主張の下に一切酌婦を用ゐず、行員互に淸話の中に宴を開きし由を耳にし、誠に嬉しく思ひました。

なほ本部敎育課長よりの小學校、中學校內の禁酒奬勵の趣意書は、九個の學校に送りました。ひたすら其功果を祈る次第であります。

次にはどちらの支部でも、家庭製作品奬勵會よりの御大典記念の徽章賣方に、御奮發なされたやうですが當地では中頃大演習の忙しさに遮ぎられ、思ふほど多數の賣方は出來ませんでしたが、とにかく少しばかりの利益金を得たので、一同相談の上、京都支部と當地託兒院へ寄贈の殘高をば、市內二十五名の窮民へ、御大典奉祝御菓子料として分與せんものと、一日菊池くま子、黑瀧なか子兩姉、一組となり吉安きせ子、田澤みゑ子、古田ふみ子三姉の一組、高杉つる子姉と私は一組となり、各方面に別れ、親しく訪問いたしました窮民の多くは世に賴りなき孤獨の老人とか、狂者の息子を看護する老母とか、中には此度木杯をいたゞきしといふ高齡者も二人ありました。一人は折しも姪に當

る人、何か折詰持込み、今や祝の莚を開かんとするところでありました。室を見れば、食ふにも、寝るにも破畳しきつめたる小さき一室、あたりを見れば壁落ち障子破れ見るかげもなき有様、吹雪の時など如何に凌ぐものかさなきだに世の嵐にもまれ〳〵し老の身、獨り殘れるさへ可憐なるを、せめては時々温き心づくしの何物をかもて、肉も心も温めくるゝ人なくてはと涙の浮ぶを禁じ得なかつたのであります。今一人は、八十九歳の高齢者、丁度、夕飯を炊き居る身振を見れば白髪亂れこそすれ、いまだ壯んにて七十以上としか見えません。是又孤獨の身にて、小暗き一室にやはり寢具も鍋もといふ有様、見るさへ氣の毒にて何と慰めん言葉も容易に出でず、持參の紙包を渡したるに、媼は平伏し、嬉れし涙もて語るには、長命は目出たいと人の言ふところですが、私のやうに頼りなき身の、九十に近き今日まで世はたゞ辛い、苦しいものと果敢んでゐましたが、此程圖らずも、高齢者のかどをもて、この見すぼらしいところへ、市長様御自身御出下され懇ろなる數々の御言葉までいたゞき、世にも有がたきことのあるものと、初めて活甲斐ある心地いたし、嬉しく思ひましたのに、今又奥様方の御心盡し、必ず忘れはいたしませんとの笑顔の中にも涙のしづく、あはれこの媼の餘命を慰め助け給へと、心私かに祈らずには居られなかつたのであります。途すがら高杉姉と共に、若し己が身の不足を思ふ時は、かゝる人々を親しく訪ねば、自ら悟るところあらんなど言合ひつゝ歸路につきしは、鳥も塒に歸へる頃でありました。

其後、例會に於て諸姉より訪問の報告がありましたが、何れも聊かなりとも自ら勞して得たる物を、貧しき人々に手づから與ふる時は、受くるよりも與ふる者の悦び、眞に味ふべきであると語り合ひました。

又託兒院よりの報告によれば、近頃休みがちなる子供等の多いのに困り居る際、寄贈の御大典奉祝の御菓子をば缺席の者へも保姆より親しく訪ねて分け與へしに、さすがは子供等、大に悦び、夫より勵んで出るやうになつたとのことであります。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小さき情けの働きも、かくは助けになるものかと嬉しく思ひました。

今一つは個人のことですが、御承知の如く、此秋當地を中心に陸軍大演習が行はれ、畏くも　陛下の行幸とありて、市中は春以來の大騒ぎ、道路の修繕、清潔法の勵行、宿舍の選定、家宅の修繕、公私共に多忙を極めました。かくていよ〱二十五家は元帥、大將其他親任官以上の特別宿舍と定められ、私の家も其中の一つでした。役所よりは、瑣細の事まで準備の指示、田舍に稀れなる此好機市民はあらん限りの歡待せんものと、意氣込み居る場合、若しや禁酒主義の吾家、萬一不都合ありてはと思ひ、前以て市長にあて、禁酒主義は吾家二十年來の主義にて、如何なる貴賓の御出あるとも此主義のみは曲げかねる旨を述べをきしに、後に聞けば折角相當の宿舍あると思へば、禁酒の條件付には困つたものだと、係員のこぼしをりしとか。いよ〱不都合と見て遂に軍屬の方々をば控かへしものか間際になりて、外賓南部子爵御一泊との通知に接しました。御着舍は丁度、夕食の頃故夫々仕度を整へ、先づ主人より禮を盡して、豫ての主義を申上げしに、夫は何より結構なる御主義、私も少し位は飲みましたが近頃は健康のため全く飲みませんのですから、御心配には及びませんとの、意外なる御挨拶、一同大に悦びました。此事却て御滿足の御樣子にて御還行まで一週間‥御滯在になりました。

其後懇ろなる御書面もあり、なほ市長まで子爵に代りて特に挨拶あるやうにとの御手紙までもあつたとのことであります。

正しき祈りに神必ず答へ給ふを、今更の如く感じました。「主義と起ち、主義と倒れん吾身かな、浪華の夢の世にしあらねば」の故新島先生の句は一入慕はしき感じが致します。

各地通信

本部

十二月四日(土)午前十時より島田夫人宅(衆議院議長官舍)に於て矢島會頭御叙勳の祝賀會を兼ね守屋東子氏の慰勞會を開く。小崎千代子氏司會の下に井深花子氏の祈禱あり、東京支部及び青年部。少年部並に廓清會より各祝辭を述べ又は和歌を呈し、地方の支部よりの祝電は拾餘通なり、終りに矢島會頭の挨拶ありて閉會し、一同庭前にて撮影せり。午後より祝賀會に移り守屋東子氏は九州部會に於ける活動につき又京都支部の活動につき詳細を語られ、次に市橋しづ子氏よりアイヌ人を救ひし事につき報告あり、一同喜に充ちて散會す、同日島田夫人より菓果の饗應ありし事を謝す。出席者百餘名。

十一月廿九日臨時常置員會を開き右祝賀會及慰勞會に關する相談をなし、本多貞子氏に御見舞狀を送る事並に橫濱なる北島ふさ子氏に同じく御病氣見舞を出せり。出席者は矢島、小崎、城戶、スペンサー、古田、岩村、田山、飯田、根本、松宮、藤井、外に委員として加藤、大藤の諸氏なりき。

麴町

十二月十三日(月)午後二時より事務所に於て麴町支部の例會を開き、矢島會長の司會にて感謝會をなし、來年度に於て講演會を開くべき事に關し、川崎氏の提議ありたり。書記の報告は少しく訂正の上承諾となり。會計は意義なく承認となり、維持費會計は日の丸小國旗の純益金參拾六圓を得て之迄の不足を補ひ尙ほ一二ケ月の餘裕を得し事を感謝せらる。市橋しづ子氏の祈禱を以て閉會す。

札幌

十一月二日北辰敎會にて役員會を開き種々協議の結果貧民に御大典を祝さしむる目的にて餅一重に徽章一個をつけて約百戶に分與する事となし、又常支部に旗の必要を認め、リボンを染め出したる旗を新調する事に決せり。

十一月十日は新調せる赤地にリボンを染め出せる旗を日の丸の國旗と交叉し、御大典奉祝慈善餅と記したる旗にて賑はしく飾り、豫定の如くに運ぶ筈なりしも會員の出席少なかりしを以て改めて、十四日各々分擔して惡路をも厭はず住所不明なる家を尋ね、その生活の樣を見ては同情にたへず、苦しさも忘れて日沒まで訪問したり。(書記海老澤まさ子)

弘前

九月十八日午後二時より會堂樓上にて例會を開く。會長司會にて例の如く、書記會計の報告ありて後、會長は本部矢島會頭近頃の活動振を新聞紙上より話され、次にミスプレストンは米國にて拾數年前は僅に二個の禁酒州なりしが今は拾數ケ州を數ふるに至りたり之れ皆人の反對を意とせず米國に於ける婦人矯風會員の熱烈なる働によれるなりと、又ワシントン市の議事堂に四十七箇の偉人の像の中には矯風會の卒先者ウヰーラード女史の像あり之れ米國を益する爲めに非常の努力を以て一生を送りしによる會員諸氏の働もこの小さい弘前のため又青森縣の爲のみ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ならず、日本のため、廣くは世界の爲めに働いて居らる丶事を記憶せられたしと語らる。讃美祈禱を以て閉會し事務の相談をなせり。新入會員はプレストン、齋藤とし子の二名なり。(高松つる子)

神田

十一月二十三日午後二時より神田基督敎會々館に於て神田支部例會を開く落合長老の司會にて今回新設したる母の課に關する主題につき小宮支部長より御話あり、次に落合長老は「小供に對する母の勤」なる演題の下に有益なる講話をせられたり後事務の御相談あり各々深き惠に充たされ午後五時散會す。出席者二十名(書記北村ちよ子)

小石川

十二月十一日(土)午後二時指ケ谷町福音敎會に於て例會を開く、パンフハインド女史司會の許に讃美、祈禱の後、書記及會計の報告ありて後當日御來會ありし杉本女史より有益なる御話あり、要は我等會員は神より與へられし責任を全ふせんが爲め矯風會の名の下に出來得る丈け活動せればならぬと說かれ、多大なる感動を與へられたり終りに京都に於ける御大典運動につきて語られ同女史の祈禱の下に閉會す。出席者二十九名。新入者一名。(書記万木氏代原田よねの)

長崎支部

十月十八日青年會敎室に於て母の會を開催長崎縣立病院婦人科部長川添博士の御講演を願ひたり博士は婦人に大切なる姙娠出產及婦人病の徵候等につき叮嚀なる御話ありき此の日の御話により危く手後れとなるべかりし某夫人の病氣は幸に博士の治療を受けらる丶の機會を與へられたり。當病院婦人科に於て出產の施療を行はん事を思ひ立たれ其の患者を得る爲に矯風會の盡力を求められ是等の關係より博士の御講演を乞ふに至れるなり今後は同博士を初め他の科の部長方をも御願ひして衞生上の講演を聞き得るの便を與へられし事を感謝す小國旗の賣り方につきては當支部に於ては何も知る所なかりしが部會代員歸崎の後急に思ひ立ち大阪林姉に千個御願ひし其の御好意によりて賣るを得たり今少し早く思立ちなばと一同殘念に思ひしもせんなし七日朝受取八日すでに賣り盡せり。

一部會にて起草せし請願書知事の新任を待ちて行く事とせり。

十二月六日役員會及例會を開き課員の分配をなし例會に於ては本部の規則に基き規則の編成をなす。

改良すべき事ども

記者

婦人週報に「女湯改良論」が出た、此はたしかに私共が共に考へて改良すべき事であると思ふ。前の大會の時に此事が議題となつた事を記憶して居る。然し此風習は東京方面が主であつて、關西には殆んどない事實であるから、どうしても關東の姉妹等の奮起を促すべきものだと思ふ。

私の狹い見聞によると、溫泉場または宿屋などでも、ノッソリと着衣の男が女湯に入つて來る事がある。驚くまもなくお背をなど丶云はれて困る事がある。使用する方には全く超越した態度で、男を女湯に廻はして居るが、これは是非廢して貰ひたい。

編輯室より

エー、エム

△編輯室の同人達は皆健在です、先第一に八十三歳の會頭はいつも御壯健で壯者を歎へて居られます。第二回の掘り出しものバサーの時に百枚餘の短冊を書いて寄附されました、(眼鏡なしに)藤井姉は正月にある醫術試驗の受驗準備に御多忙です、例によつてゐの小さいお身體をわくまで緊張して勉强しておられます。同姉の爲に祈つてゐげて下さい。

△小橋姉は名に反した大きな體格を樂々と運轉して縱横に働いて居られます。婦人週報といふ週刊新聞を獨力で發行されすでに毎週金曜日に發行されて居ます。同姉の二階の廂に鳩が巣を作つて居るので鳩の家といふ評があります、昨今しきりに雀等が集まり議會開催のやうだときゝました。勿論鳩は議長役だそうです。

△藤井姉の補助者として板倉梅子姉が近頃はお出でゝす、それに女中夜學の山川姉お手傳の市橋姉などで賑やかです。長い旅して歸つた私が時々地方土產の言葉遣で大笑する事もめづらしくありません、猶京都の事祝踊の萬歳々々の節まねには皆は若しがつて泣く事もあります、樂しい日々を送つてゐます。

△おしつまつて第二回の掘り出しものバサーを十八日に開きました、只準備としては五日間位でしたが純益三十圓餘を得ました、いつも出品さるゝもの良いのには感謝の外ありません、一番振ふてゐたものはシルクハットでした、金五錢とつけておきました、買手はないと唯もいふて居ました、處が實に有用に買はれました。

△學校で餘興の時に父親のシルクハットを持ちだしては母親を困らして居つた子息を有たれる夫人が何よりも結構なものだといふて買はれました。掘りだしものの第一でせう。事務所がある爲に斯うした會を開く事が出來てどんなに有がたい事だらうと話あつてゐます

△近頃はいつも大方夜十時頃に歸ります。歸る前に祈禱會を開いて讃美し祈禱してわかれます。どうぞ本年も新報の爲に祈り發展と充實とを期したいと思ひます

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

——廣告——

口繪の上部に揭げたる矢島會頭のお寫眞は麹町支部の會員川崎まさ子姉の撮影せられたものですお望みの方には一枚貳拾錢にて差上る筈姉はこの純益の一部を矯風會に寄附せらるゝ筈です

左にお申込みを乞ふ

牛込區余丁町八十一

川崎まさ子

電、番、四六九四番

謹賀新年

吳服物販賣

○御報次第持參

○純益の一部を婦人矯風會に寄附する事となれり

四ツ谷愛住町九十四

齋藤ふく

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人週報

主幹 小橋三四子

編輯主任 松本雲舟

（毎週金曜日發行）

四六二倍、二十四頁
一部郵税共五錢
一ケ月四部金貳拾錢
半年 壹圓拾錢
一年 貳圓貳拾錢

東京市牛込市谷田町
二丁目十七番地
婦人週報社
電話番町四五六六番
振替東京三一六六〇

新春と本誌の活躍

シエンキ井ツチ氏作小説「クオヴヂス」の譯者として名聲嘖々たる松本雲舟氏は其完全なる改譯を思ひ立ち本誌元旦號より

全譯

何處へゆく

（松本雲舟譯）

を本誌一頁（二千六百字）以上に渡りて連載すべし、曾て是を讀まれし人も未だ是を讀まざる人も本誌に就て新しき興味を以て快絶悲絶なる此物語を愛讀せざるべかず

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、水、木、金、午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麹町區三番町三十番地(市ケ谷見附内)
電、番六二番

東洋內科醫院

院長 醫學士 高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
相州茅ケ崎海濱(從停車場半里)
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（明治四十五年六月廿五日 第三種郵便物認可）婦人新報第二百廿二號（大正四年十二月廿八日發行 毎月一回發行）

祝聖誕

ライオン齒磨
ライオン石鹼
本舗　小林富次郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA